

丹羽長重廟修復工事竣工記念式典
初代白河藩主の霊廟を修復

「白河市歴史的風致維持向上計画」に基づき進めてきた丹羽長重廟（円明寺地内）の修復工事が完了し、10月3日に記念式典が行われました。この建物は、初代白河藩主丹羽長重の霊廟で、今から約180年前の1836年に創建されたものです。老朽化が進んでいたため、土台や柱の改修を行いました。式典に出席した丹羽家18代目当主の長聰さんは、「市民の憩いの場として役立ててほしい」と話しました。市では引き続き、小南湖の園路や湖沼整備等を進めていきます。



▲修復が完了した丹羽長重廟

河津桜植樹式
未来の地域交流を願う

10月9日、関の森公園（旗宿）で「河津桜植樹式」が行われました。この桜は、被災県の復興を願うNPO法人伊豆のせんたんコンシェルジュ（増田健太郎代表）から、「東北に河津桜を!!伊豆から桜プロジェクト」の一環として、昨年に続き贈られたものです。増田会長は、「苗木が成長して、10年後、20年後の地域交流に役立ってほしいです」と話し、白河カトリック幼稚園の園児や関係者とともに、50本の苗木を丁寧に植樹しました。



▲苗木を植樹する園児と関係者(右が増田会長)

市税等口座振替キャンペーン抽選会
新規申込者357人を対象

9月29日、「市税等口座振替キャンペーン」の抽選会が行われ、キャンペーン期間中に市税等の口座振替を新規で申し込まれた357人の中から、A賞の防犯グッズ5人（笹山美紀子さん、川堀正男さん、渡邊力さん、森幸弘さん、齋須秀樹さん）と、B賞の図書カード25人を抽選で選びました。

口座振替による納付は、納め忘れを 방지、金融機関やコンビニエンスストア等に出向く手間がなくなるなど、利便性に優れています。ぜひご利用ください。



▲抽選を行う鈴木市長

まちの話題やイベント
を皆さんに
まち
Topics



▲パネルディスカッションの様子

中山義秀文学賞第20回記念式典
文学の必要性を再認識

10月19日、鹿島ガーデンヴィラ（北中川原）で、中山義秀文学賞第20回記念式典が開催され、約180人が参加しました。

記念講演では、直木賞受賞作家の安西篤子氏が「中山義秀先生を語る」をテーマに、師と仰いだ義秀先生の様々なエピソードを披露しました。続いて行われたパネルディスカッションでは、「中山義秀文学賞をまちづくりにどう活かすか」をテーマに、鈴木市長と歴代受賞者の中村彰彦氏、竹田真砂子氏が、文学の必要性やふるさとの歴史・文化を語り継ぐことの重要性を話し合いました。

式典に参加した方には、歴代受賞者から寄稿された文学賞受賞にまつわる思い出などを1冊にまとめた「思い出の中山義秀文学賞」が配られました。



▲講演を行う安西氏

糖尿病予防フェア「タニタの社員食堂健康セミナー」
バランス・量など食べ方のコツを伝授

10月19日、市立図書館りぶらん（道場小路）で糖尿病予防フェアが開催され、約200人が参加しました。

「タニタの社員食堂健康セミナー」と題したセミナーでは、(株)タニタヘルスリンク管理栄養士の堀越理恵子さんが「野菜たっぷりでも500kcalでもまんぷくになる食べ方のコツ」を分かりやすく話し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、セミナーに先立ち、糖尿病ゼロ作戦標語コンクール表彰式が行われました。



▲標準体重の説明をする堀越さん